

- 問1 富山ライトレールの開業前後における利用者数の変化について、JR時代の2005年とLRT導入後の2006年を比較した統計があります。この統計では、60代の利用者が260人から814人に、70代の利用者が164人から566人に増加したことが示されています。この変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- 10代の利用者の増加割合が最も大きく、高齢者の増加率を大きく上回った。
 - 高齢者の利用者は増えたものの、JR時代と比較した伸び率は2倍未満にとどまった。
 - 50代の利用者が全ての年代の中で最も多くなり、利用者層の中心となった。
 - 60代と70代の利用者が、JR時代と比較してそれぞれ3倍以上に急増した。
- 問2 静岡県において製紙・パルプ工業が全国有数の規模にまで発達した理由を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 三重県公立入試 類似)
- 富士山周辺から得られる豊かな湧水や河川水などの水資源が、製造工程に不可欠だったため
 - 海外から輸入した木材チップを加工するために、県内に大規模な製鉄所が隣接していたため
 - 古くから発達した織物機械の技術を応用し、高度な自動化が進んだため
 - 三方ヶ原などの台地において、原料となる木材の植林が大規模に行われたため
- 問3 日本の地方区分に関する説明として、中部地方の地理的特色を正しく述べているものを、次のうちから選びなさい。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
- 本州の西部に位置し、大阪府や京都府などの2府5県から構成される。
 - 本州の東部に位置し、東京都や埼玉県などの1都6県から構成される。
 - 本州の南西部に位置し、広島県や岡山県などの5県から構成される。
 - 本州の中央部に位置し、富山県や愛知県などの9県から構成される。
- 問4 中部地方の北陸各県における製造業の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。統計上の製造品出荷額の内訳を説明した内容に基づき、適切なものを選びなさい。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- 福井県では印刷業が盛んに行われており、新潟県では輸送用機械の出荷額が最も多い。
 - 富山県では石油・石炭製品の割合が最も高く、福井県では電子部品の製造が中心となっている。
 - 新潟県では食料品や電子部品の割合が高く、富山県では化学工業や輸送用機械の割合が高い。
 - 新潟県では化学工業が、富山県では繊維工業が、それぞれの県の製造品出荷額の半分以上を占めている。
- 問5 石川県の伝統的工芸品である「九谷焼」と「輪島塗」の特徴について説明した文として、最も適切なものを選択してください。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
- 九谷焼は薄く透明感のあるガラス細工であり、輪島塗は竹を細かく編み込んで作られる丈夫な容器である。
 - 九谷焼は色鮮やかな絵付けを施した陶磁器であり、輪島塗は堅牢な塗りと美しい装飾を特徴とする漆器である。
 - 九谷焼は木目を生かした幾何学的な模様が特徴の木工品であり、輪島塗は熱帯の気候に適した通気性の良い織物である。
 - 九谷焼は鉄を主原料とした重厚な鋳物であり、輪島塗は和紙を何層にも重ねて作られる和傘である。
- 問6 日本の工業地帯の特色について述べた次の文のうち、愛知県付近の統計において、海岸線の長さが約678kmと比較的短く、大規模な長方形の埋立地を造成して工業用地を確保している地域に該当する名称はどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
- 中京工業地帯
 - 瀬戸内工業地域
 - 阪神工業地帯
 - 京浜工業地帯
- 問7 中京工業地帯の一角を担う四日市港の貿易に関する説明として、その輸出の背景や現状を正しく述べているものを選んでください。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
- 近畿地方の工業化を支える中心港であり、かつては鉄鋼の輸出が中心であったが、現在は原油の輸入のみに特化している。
 - 日本最大の輸出額を誇る港であり、主にアメリカ合衆国に向けて食料品や衣類などの生活物資を大量に輸出している。
 - 九州地方を代表する港として、自動車の輸出額が全国1位であり、東南アジア諸国との貿易が総額の半分以上を占めている。
 - 輸出額において国内有数の規模を誇り、自動車や半導体等製造装置などの高付加価値な工業製品を中国などの近隣諸国へ送る拠点となっている。
- 問8 中部地方の福井県に位置する若狭湾や、石川県の能登半島の一部では、山地の谷に海水が入り込むことで、小さな岬と湾が連続する複雑に入り組んだ海岸線が見られます。このような海岸地形の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- 砂州
 - リアス海岸
 - 海岸平野
 - 三角州
- 問9 川が山間部から平地に出る場所に、土砂が堆積して等高線が扇状に広がる地形が形成されることがあります。この地形における土地利用の記述として、地形の性質を踏まえた最も適切なものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- 標高が低く平坦なため、重化学工業の巨大な工場が立ち並び工業地域となった。
 - 土砂が細かく湿気が多いため、古くから大規模な水田地帯として利用されてきた。
 - 川の最下流部に位置するため、砂や泥が堆積してきた水はけの悪い低地となっている。
 - 砂や礫が積もり水はけが良いため、古くから果樹園や桑畑として利用されてきた。
- 問10 日本の7地方区分の一つである「中部地方」の位置関係や構成について、正しく説明しているものを選びなさい。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
- 本州の西側に位置し、東側で中国・四国地方、西側で九州地方と隣接している。
 - 本州の中央部に位置し、東側で関東地方、西側で近畿地方と隣接している。
 - 日本列島の北部に位置し、津軽海峡を隔てて北海道地方と向かい合っている。
 - 本州の東端に位置し、北側で東北地方、南側で関東地方と隣接している。
- 問11 北陸地方において伝統的工芸品が発達した要因を考える際、冬の気候に関連して空欄に当てはまる適切な語句の組み合わせを選びなさい。「北陸地方では冬に（①）が多く、屋外での（②）が制限される。そのため、家の中での手作業による工芸品の製造が盛んになった。」 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- ①積雪量 ②農業
 - ①日照時間 ②漁業
 - ①風速 ②商業
 - ①降水量 ②牧畜
- 問12 日本の諸地域の産業において、気候条件が産業の成立に影響を与えた事例は多く見られます。福井市の気候統計において、冬の降水量が非常に多いという特徴に関連して、この地域で「眼鏡フレーム」などの精密な地場産業が発達した直接的な理由を説明したものを選びなさい。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- 冬の低温多湿な環境が、金属を精密に加工する際の温度管理に適していたため。
 - 広大な農地を冬の間に工場用地として転用しやすく、大規模な生産体制を整えることが容易だったため。
 - 雪深い地域では人々の移動が制限されるため、村ごとに独自の工業製品を自給自足する必要があったため。
 - 積雪によって冬の農作業ができない時期に、農家の貴重な収入源として副業的な家内工業が推奨されたため。